

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /  
おうちの方へ / 理解シート


## 5の合成・分解は、どのような数の組み合わせを身につければよいのですか



(4と1), (3と2), (2と3), (1と4)の組み合わせです。

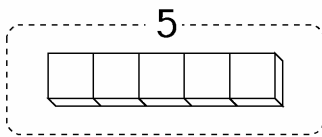
1



5を分けることを数の分解、その逆を数の合成といいます。

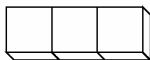
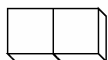
5は、ブロックで  になります。

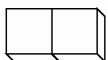

2



5は、どのように分けられるか、考えましょう。



 と  ----- ・5は、(4と1)の組み合わせです。

 と  ----- ・5は、(3と2)の組み合わせです。

 と  ----- ・5は、(2と3)の組み合わせです。

 と  ----- ・5は、(1と4)の組み合わせです。

- このように、4通りの組み合わせがあることがわかります。
- 左右の区別をしないと、(4と1), (3と2)の2種類になります。
- この組み合わせは、大変重要です。必ず、身につけるようにしてください。

- [注意] ・(4と1)を合わせると5という考え方を、数の合成といいます。
- 0を考えると、(5と0), (0と5)の組み合わせも存在しますが、入門期には、この2つは取り扱いません。
  - 0は、「たしざん(1)」で勉強します。